

## 議会の挑戦！もっと聴く、もっと伝える… そのために広報広聴の機能強化へ… 政策研究会調査部調査結果

リーダー：小川 龍美 サブリーダー：大坪 国広  
スタッフ：森 亘、下野 義子、村上 嘉男、香取 幸子

政策調査部では、広報広聴機能の充実に向けて調査を重ねてきました。また、2月と8月には、広報広聴の専門の委員会を組織している先進的な議会を視察しました。読者をひきつける紙面づくり、SNSの活用、町民の議会参加など、改めて専門の委員会の必要性を痛感しました。約1年にわたる様々な調査結果から、調査部では広報広聴を専門とする委員会の発足が望ましいとの結論に至りました。



三芳町議会視察

～議員と話そう～

### 「みずほ まちなか会議」開催に向けて準備中

#### 総務産業建設委員会

日 時：1月21日(土) 午後7時～  
会 場：役場1階ホール

テーマ 町の活性化にむけて

#### 厚生文教委員会

日 時：1月22日(日) (時間未定)  
会 場：役場1階ホール

テーマ 支え合い、助け合う  
幸 齢社会

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催方法などが変更となる場合もあります。  
最新の情報は議会ホームページでご確認ください。



ご参加を心よりお待ちしております。

質問 新型コロナウイルス第7波で、感染が爆発的に拡大し、子どもの感染も急増している。長引くコロナ禍での子どもの生活は、多くの制限による我慢の毎日だと考えられる。このような状況下での子どもの育ちについて、影響があるのではと心配する声が多く届いている。そこで、保育、教育現場での子どもの現状と、コロナ禍での生活には子どもの育ちにどのような影響があり、どのような対策を行っているのか、町長、教育長の所見を伺う。



懸念される。町の保育士はマスクをしていても子供たちに喜怒哀楽が伝わるように言語化したり、場合によってはフェースシールドを使うなど工夫している。小・中学校においては、コロナ禍であっても、児童・生徒の学びを保障する必要な教育活動を継続していく。新しい生活様式を踏まえ、児童・生徒の健康意識を高め、健やかに学校生活を送れるように教育環境の充実に努めていく。

香取 幸子 議員 (自民誠和会)  
「コロナ感染対策と子どもたちの健全育成について」  
の健全育成について



### 基地対策特別委員会

#### 瑞穂町と瑞穂町議会 合同による要望活動

8月3日、町と共に防衛省・外務省・総務省・環境省へ要望活動を行いました。主な内容はC-130やCV-22オスプレイの低空および旋回飛行・夜間および早朝の飛行訓練の中止、今後のCV-22オスプレイの配備の情報提供や低周波音の調査の実施、住宅防音工事に関して住宅防音区域の拡充、対象家屋の拡大や工事の早期実施など、住民の生命と環境の安全確保と迅速かつ正確な情報提供を強く要望しました。さらに基地内での新型コロナウイルス感染症や新たな感染症等の発生状況についても速やかな情報提供と感染防止対策の徹底を求めました。



左から 杉浦町長、下野委員長、扇谷北関東防衛局長、古宮議長